

第2回 第2分科会会議録（概要）		場 所	新宿コズミックセンター
日 時	平成17年7月9日 午前9時30分～午前11時45分	記録者	【学生補助員】 岸本、渡辺
		区担当	青柳、中川、水島
出席者：66名 傍聴者： 6 名 (区民委員：61名 学識委員：2名 区職員：3名)			
<p>■ 配布資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 自己紹介カード 3 第1回会議録 <p>■ 進行内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 ワークショップ 「新宿の良い点 悪い点」 3 各グループごとの発表 4 まとめ <p>■ 会議内容</p> <p>【発言者】 ●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員</p> <p>1 開会</p> <p>○：本日の分科会ですが、6班に分かれてグループ作業を行います。各班12、3人ほどで、五十音順で分けています。</p> <p>これからの分科会のやり方に慣れてもらうのが目的です。</p> <p>◎：ワークショップの目的ですが、小グループに分かれて議論してもらうことで、自由に意見を交換できるということだと思います。そのことで、問題が明確になってくるのが、ワークショップの利点でしょう。</p> <p>本日は初めてということもあり、事務局の職員がリーダーとして加わっていきます。しかし、次回以降は皆さんがリーダーとなって、自主的に議論を進めていただきます。</p> <p>2. ワークショップ</p> <p>各グループごとにテーマに沿ってワークショップを行い、その後検討結果を発表</p> <p>●（3班）：良い点は、交通の便が良いことです。</p>			

環境についてですが、ごみの問題や、緑が多いところと少ないところの格差があります。緑の少ないところとは道路の周りなどで、空気汚染の問題があります。ごみ問題は、ごみの出し方などを含めた、地域環境の問題です。地域環境は住環境と密接ですが、ワンルームマンションが多く、そして地価が高いために高層ビルが乱立しています。近隣の住民の顔のわかる、安全安心な街への取り組みを望みます。高齢者の健康について、また福祉施設の問題もあります。行政の問題として、高い税金、そして、職員の対応、ここに住んでいる人が職員になっていないことも挙げられました。

また、子供が生まれてない、そして子供が住みにくい、という少子化の問題もあるでしょう。

都市機能が充実している分、そこから問題も生じているのではないか、というのが3班の意見です。

●（6班）：地域に関するカードが一番多くありました。

これは、地域の問題について一番関心が多かったということでしょう。町会の活動についてですが、ある地域では、役員が交代制で一人が留まっておらず、とても良いと思いました。これは地域の活性化に繋がると思います。また、一方でほかの地域では、町会の長老支配があり、自由に意見が出されないのが悪い点です。このように、地域ごとの格差があるのが問題だと思います。福祉は不満を表す青いカードのみで、福祉に関してみな要望を持っていることがわかります。

6班は、地域と福祉に関する関心が高かったです。他にも、環境、行政についての問題も挙げられました。良いところとしては、交通の便が良いことと、災害事故が少ないこと、国際的に紹介されていることなどが挙がっています。

●（2班）：大きく、良い点と悪い点にわけてみました。良い点は、交通の便がよい、施設が充実している、大久保などにいろいろな国籍の方がいて賑やかなことです。商業が活発で買い物をする場所が沢山あり、多くの企業があることもそうだと思います。その分、物価が高いために、お金があれば住みよいのですが。また、文化の街であり、地域センターでのグループ活動があります。

悪い点は、ごみが多いこと、外国人が多いために銭湯の使い方などが守られていないこと、近所づきあいが少ないこと、少子化などです。外国の方や近隣との交流を活発にして、色々教えてあげたいと思いました。また、精神障害者の施設が少ないと思えます。また、独居老人の多いのも問題でしょう。そのようなお年寄りの方々、一人一人にもっと善悪の判断をしてもらいたいと思えます。例えば、野良猫や鳩にえさをやるのは、近所の迷惑にもなる、ということなどです。

少子化、そして学校の統廃合の進んでいることも問題だと思います。

- （5班）：5班の構成としては、女性4男性5であり、民生委員など実務経験をつんだ方や会社をリタイアした方などがいます。

良い点としては、交通のアクセスが良い、文化的、エネルギーが満ち満ちていることでしょう。

問題点は、福祉や治安（ホームレス）などに改善点があると思います。女性市長に期待したいです。また、行政の各分野に関していろいろと意見がありました。19年以降のプランよりも現実をどうにかしてほしいという思いがあります。

- （1班）：まず、いい点は「新宿に住んでいる」というと、すごいといわれるように副都心という東京の中心であることのイメージがあると思います。

改善点としては、外国人が多すぎることで、路上喫煙があると思います。外国人が多いというのは、住んでいる場所に偏りがあり、また国にも偏りがあるということです。「ムラ」としてまとまるのではなく、もっと普遍的に地域に溶け込んでもらいたいと思います。路上喫煙に関しては、これからに期待しています。また、生活するには物価が高く、若い人が住めない、とも思います。福祉については、介護保険の制度などに問題があると思います。

私は当初、第一分科会を希望していました。少年野球の指導に20数年携わっており、海外遠征に行ったりもしましたが、そこで子供の遊び場が少ないと感じました。神田川に河川敷を作れとはいえないが、板橋区などと提携してグラウンドを借りさせてもらうことはできないのでしょうか。新宿区にある大会社の福利厚生施設を利用させてもらうのもいいと思います。例えば、杉並区では小学校のグラウンドを夜間に安く借りられます。新宿では高く、子供は借りられません。

- （4班）東京の中心であり、町名など歴史のあるものがあるのが良い点です。

福祉に関しては、大きな病院があることはいいことですが、小さな病院と大きな病院の連携ができていないのではないのでしょうか。他にも介護保険の問題、高齢者のケアの問題などがあると思います。また、新宿は坂が多いからバリアフリーに関しても改善されると良いと思います。

他には、緑が多いところと少ないところ、環境が悪いところなど、地域差が大きいことでしょうか。明るいから治安がいい、活気があるということもあるのかもしれませんが。

また、高齢者にも寝たきりの方から元気な方まで、いろいろな方がいらっしゃいます。そして、高齢者が集う場所が少ないというのがあると思います。廃校になった小学校や地域の小学校の空き教室を利用したり、プールをリハビリとして使えたらよいのではないのでしょうか。

遠くに行けば便利、ということではなくて、身近な社会をどう便利に変えていく

か、を考えていくべきと思います。

5. まとめ

◎：今回は非常に熱心にやっていただいたと思います。今後もグループでの話し合いを基本としていきたいと思います。

今後のこの分科会の検討テーマについて、私が思っていることをお話します。

一つは、第2分科会の課題として挙げられている4つは、どちらかといえば役所の担当部署に集めたものだと感じています。これはこれで悪いことではないのですが、第2分科会の検討においては、役所の担当割りとられることなく、複数の担当にまたがった課題もあると思うので、私たちの視点で組み替えて考えていきたい。

二つ目は、今日の議論の中にも、子どもの課題とか出ていたと思います。今回の区民会議では、子どもの問題については主として第1分科会で取り扱っていくことになっているので、第2分科会のメインテーマではありませんが、少子化と高齢化は切り離せない関係にあるのは事実です。余り縦割りの考えずに関連する課題を盛り込みながら議論していきたいと考えています。

今日の議論や自己紹介カードを見ますと、多くの方が高齢者の問題に関心が高いように思えます。確かに今後団塊の世代が高齢者になっていくという現状があることは事実で、この分科会の重要な課題ではありますが、それだけではありません。10年後の新宿を見すえて、幅広い議論をしていきたいと考えています。

基本構想・基本計画は10年後の新宿区を考えることです。10年という期間は短く何も変わらないようにも感じますが、一方で大きな変化もあります。10年前は介護保険制度はまだ議論の段階でした。障害者に対する施策も、施設に入所させればよいという考えから、普通の市民として普通に、地域で暮らしていけるように考えていくというように変わってきています。

これから先10年間、変わらない点もあるでしょうが、大きく変えていくこともできると考えています。

今日はまず議論の契機として、新宿区の良い点、悪い点を皆さんに議論していただきました。この議論や、皆さんが書いた自己紹介カードを手がかりに、皆さんでこの第2分科会のテーマの柱立てを考えてほしいと思います。

まず、私がどう考えているか少しお話ししたいと思います。

たぶん皆さんの大きな関心には、介護問題があると思います。皆さん自身が家族の介護をする、あるいは介護を受ける立場になるなどいろいろありますが、これが一番の考えられるテーマでしょう。

しかし、介護問題イコール高齢者問題化と言うとそうではないでしょう。障害者の方にとっても大きな課題でもある。また、身体障害者の半分以上は65歳以上で

あり、障害者問題と高齢者問題には重なる部分があり、分けて考える必要はない。若者や子どもも含めて、それぞれの生活をどのように援助していくか考えていく必要があると思っています。

また、私自身にとっても大きな課題ですが、生きがいという表現がいいかどうかありますが、自分たちの生活をいかに豊かにしていくか、というのがそれぞれの人々にとって大きな課題となっていると思います。高齢者だけではなく、全ての人々に対して、生活を豊かにしていく仕組みや制度がまだまだできていないように感じています。

また、広い意味でのバリアフリーについてです。障害者だけの問題ではありません。放置自転車もある種のバリアフリーの問題ですし、物理的なものだけでなく、こころのバリアフリー、外国籍の方やホームレスなど、社会から排除していくことで問題を悪化させている点がある。こういった点を含めたバリアフリーの課題があると思います。

これからは、地域の時代です。まさにそれぞれ住んでいる身近な地域から問題を考えることが大事だと思います。福祉の問題とかけ離れてるように思われるかもしれませんが、今まであがった課題をどう実際にすんでいる地域で取り組んでいくか考える必要があると思っています。近隣社会をいかに作っていくかを考えていきたいと思っています。

◎：第2分科会としては、提言の作成という大きな目標がある訳だが、分科会の討論を通した見えてきた10年後の新宿の課題に対する解決策やその基盤となる人材づくりができる創造的な場にしていきたいと考えています。

そのキーワードとして、「うごく」・「つなぐ」・「かたる」の3つをあげることができると思います。まずは、お一人お一人が問題意識をもって区民会議に参加されるという「うごき」があり、次に、本日のようなグループとしての、人と人としての「つながり」が生まれ、意見交換という「かたり」をとおして問題を明確化していく。その繰り返しですね。

「うごく」・「つなぐ」・「かたる」の末尾3つをとると、「くぐる」になります。これから出てくる課題を乗り越えると考え、少々大変なので、知恵や工夫を出し合って「くぐりぬかれる」ような創造的な機会に、この分科会の場をしていきたいと思っていますので、ご協力をお願い致します。

まずは中間報告を出すという目的がありますが、今回、分科会にご参加いただいている皆さんは非常に多彩な趣味と経歴を、お持ちなので単なる報告の場ではなく、発表者がフラダンスやラジオ体操を踊りながら、パソコンやパワーポイントを駆使したレジメやチラシをお配りし、わかりやすく楽しい発表をするなどの工夫があったりする、交流豊かな分科会にしていければと思います。

新宿区民会議＜会議録＞

○：本日の検討を見て感じた点は、区民会議の4つの原則8つのルールを守っていくことだと思います。

なお、今後の日程については、当面3か月程度は、第2土曜日の午前、第4水曜日の午後の月2回ということで進めていきたいですがご了解いただけますでしょうか。（賛成多数で了承）

また、グループ分けにつきましても、当面はこのままでやっていこうと思うのですが、よろいしでしょうか。（賛成多数で了承）

では、次回については7月27日（水）の午後からとなります。時間と場所については決まり次第各委員にご連絡します。

それでは、本日は閉会します。

＜次回予定＞

- ・ 7月27日（水） 午後 場所については未定